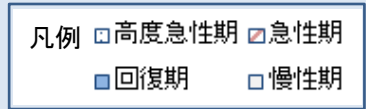


平成29年度病床機能報告結果(速報値)

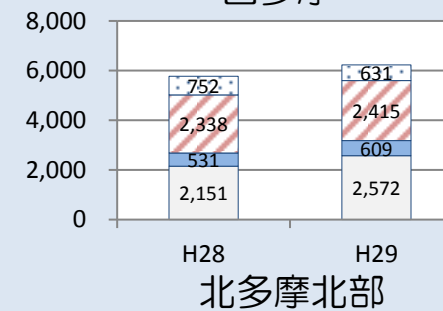
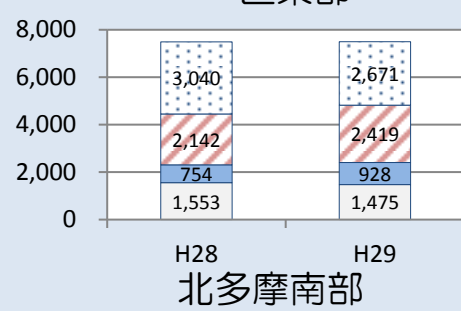
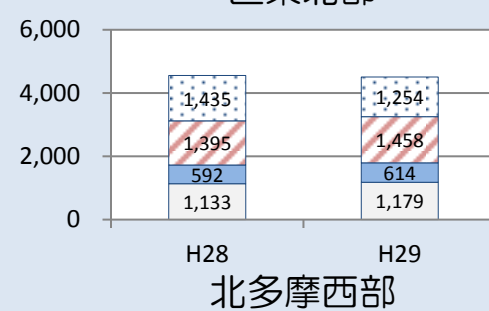
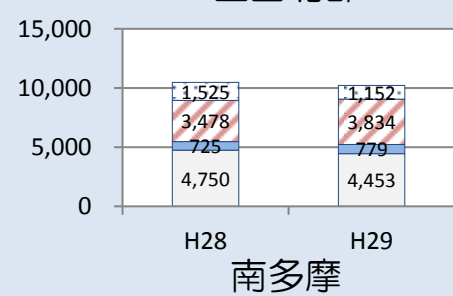
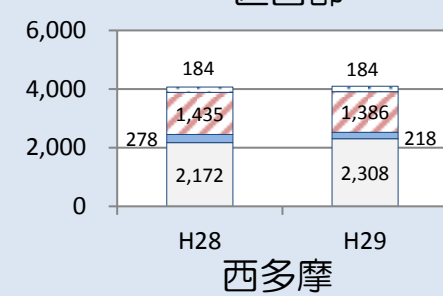
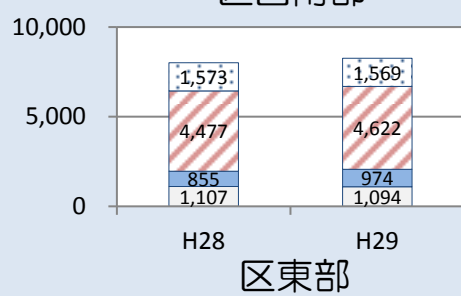
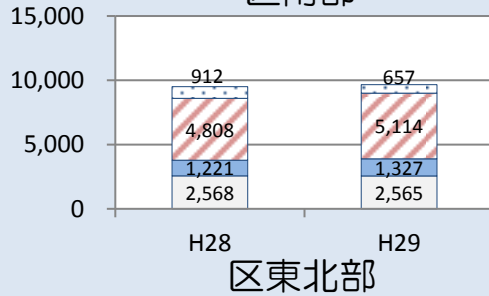
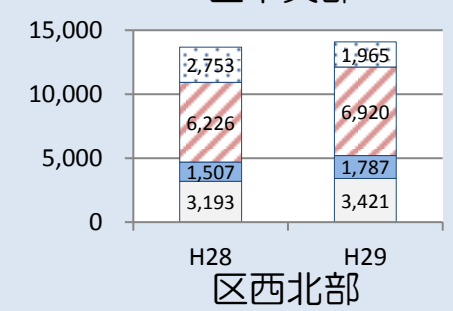
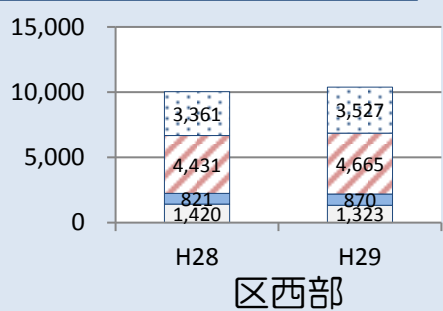
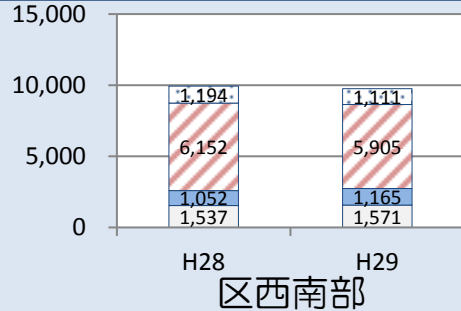
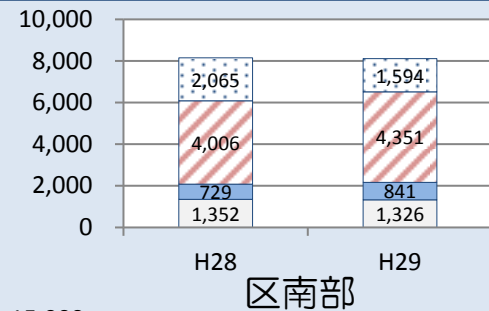
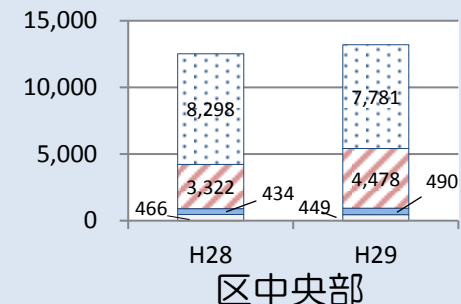
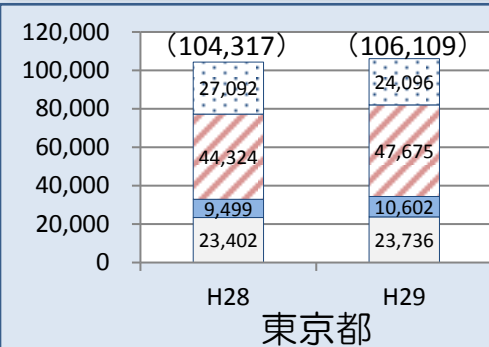
H28-29比較 <4機能別許可病床数>



<結果の概要(東京都)>

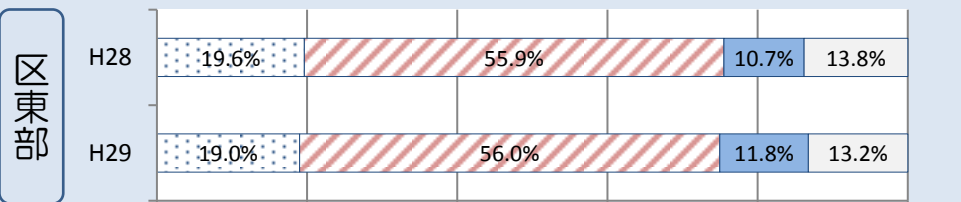
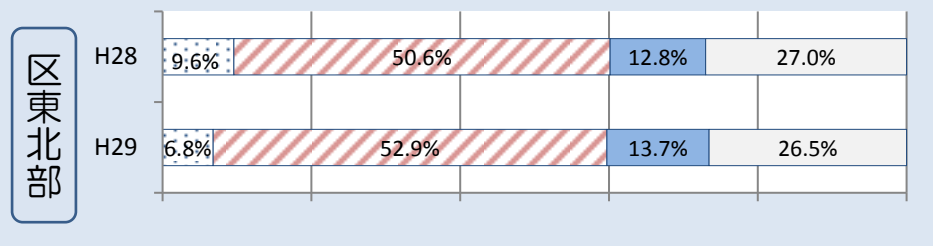
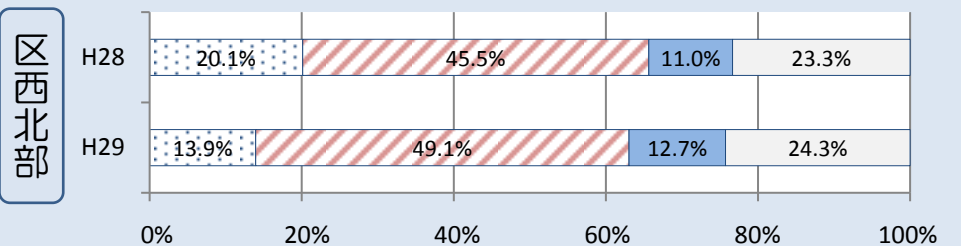
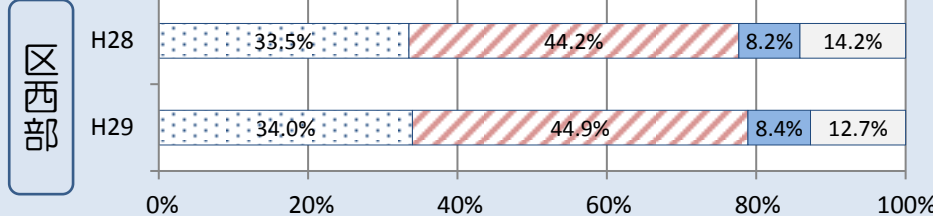
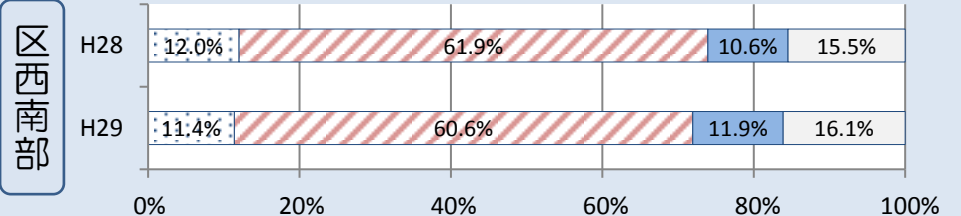
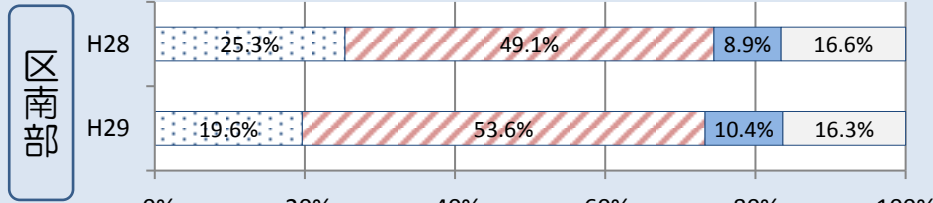
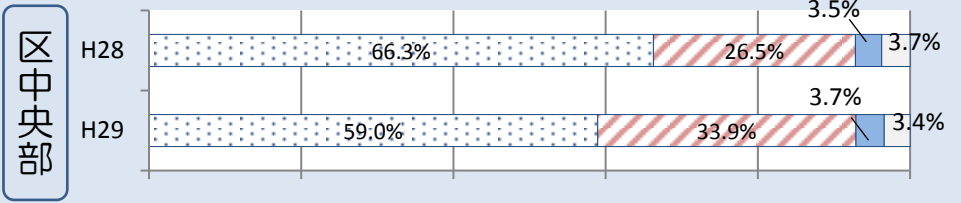
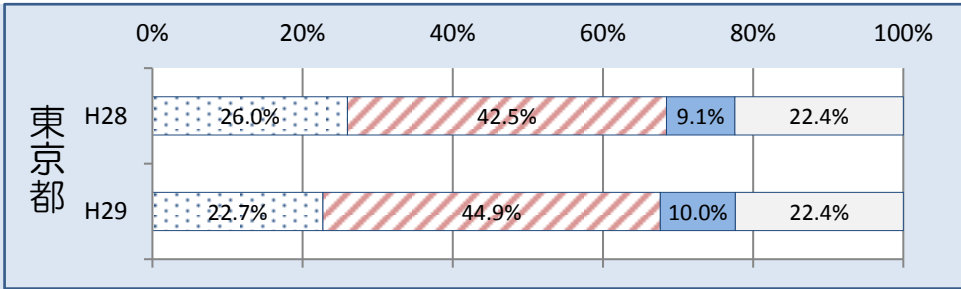
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能	2,996床減
急性期機能	3,351床増
回復期機能	1,103床増
慢性期機能	334床増



平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合/区部>

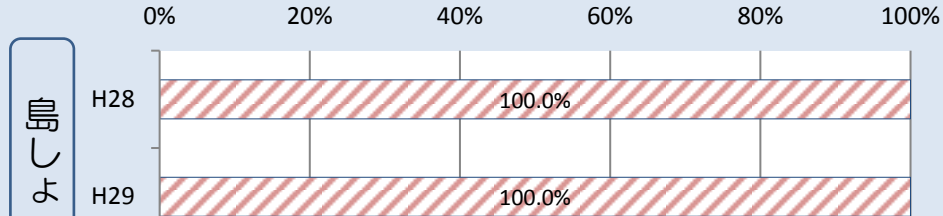
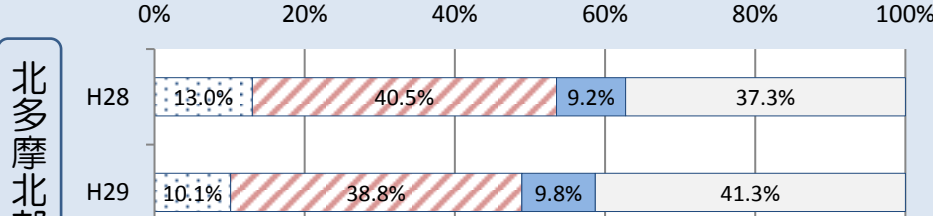
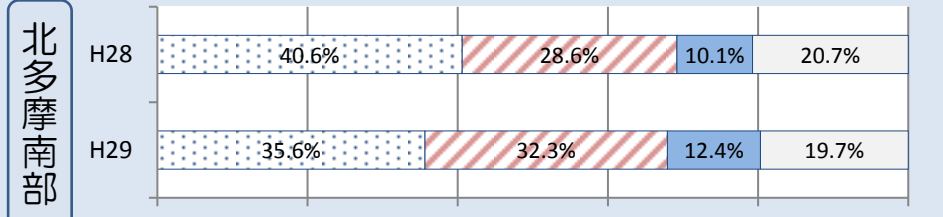
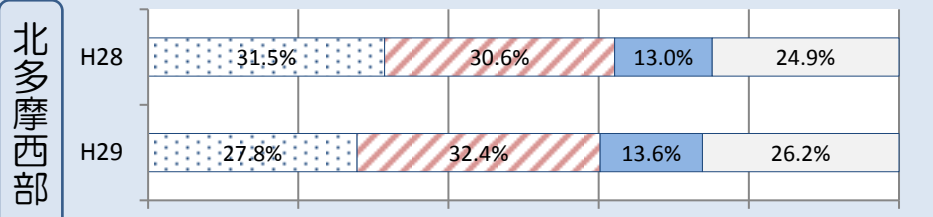
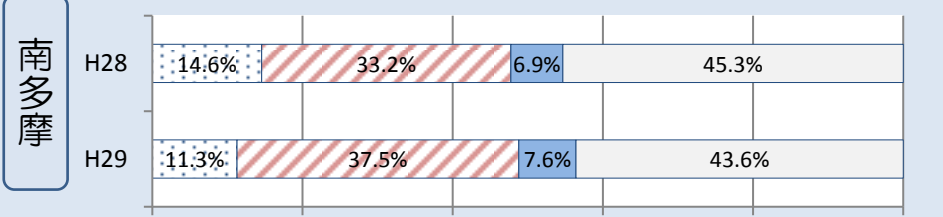
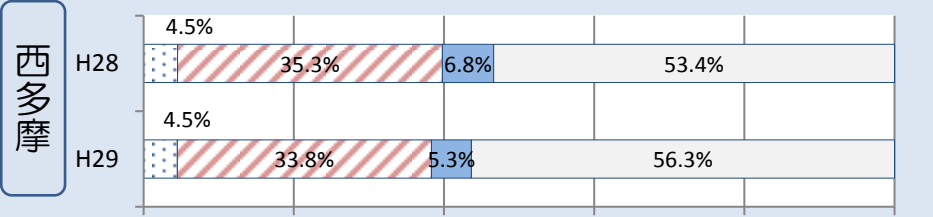


凡例

- 高度急性期
- 急性期
- 回復期
- 慢性期

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

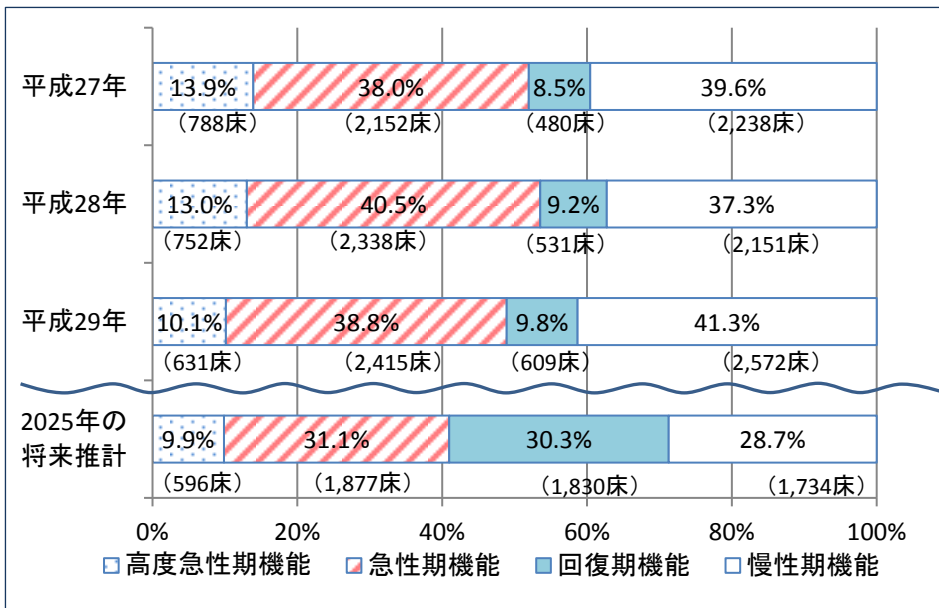
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



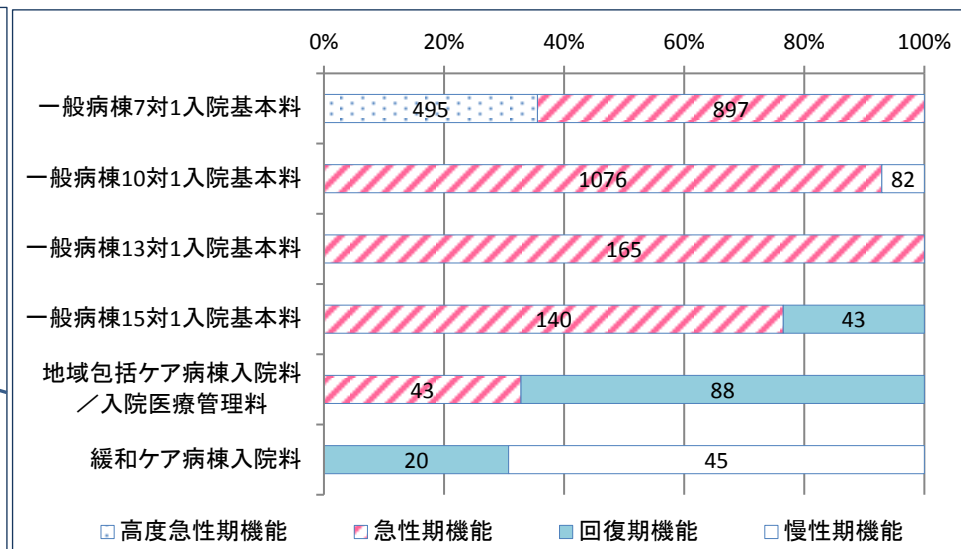
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid light blue)

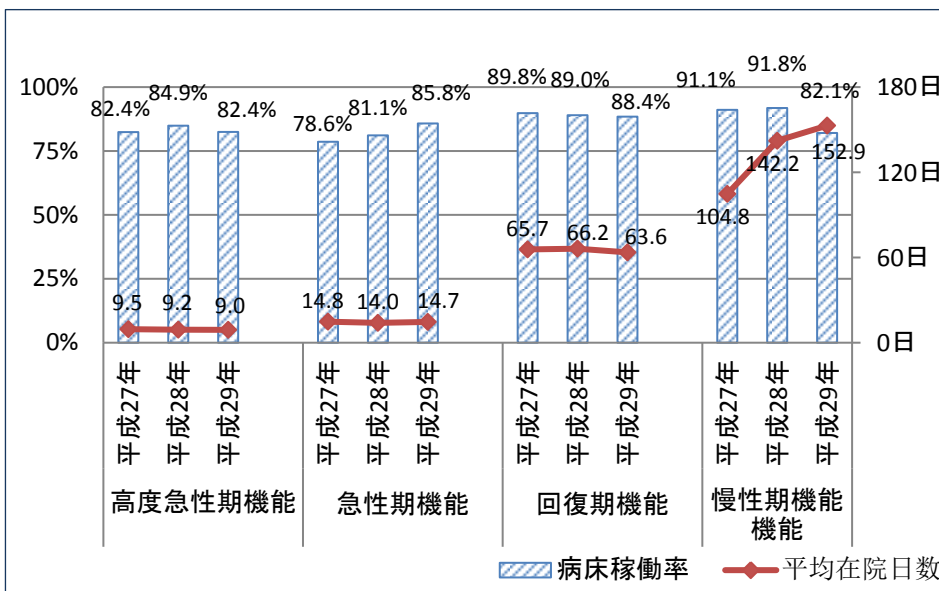
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	998 88.8%	41 3.6%	9 0.8%	76 6.8%
急性期機能	3,001 84.0%	30 0.8%	126 3.5%	417 11.7%
回復期機能	146 73.4%	5 2.5%	14 7.0%	34 17.1%
慢性期機能	182 47.5%	36 9.4%	23 6.0%	142 37.1%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 68.8%(前年度61.8%)

- ①高度急性期機能以外で病床数が増加
- ②急性期機能以外で、病床稼働率が下がっている。
- ③地域包括ケア病棟で回復期機能として報告された割合が高い。
緩和ケア病棟で慢性期機能として報告された割合が高い。
- ④急性期・回復期・慢性期機能で、退院後の在宅医療実施予定が不明の割合が高い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が大きく上昇